

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立刀根山高等学校
校長名	無津呂 弘之

開催日時	令和6年2月19日(月) 15時から16時15分
開催場所	本校会議室
出席者(委員)	尾崎副会長、守屋委員、仲委員、宮下委員、岡本委員
出席者(学校)	無津呂校長、松葉事務長、川村教頭、越智首席、道場首席
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度学校経営計画評価案、令和6年度学校経営計画案、各分掌の総括報告書、45期生入試結果一覧
備考	岩槻会長は欠席

議題等
○令和5年度の総括について ○令和6年度学校経営計画案について
協議内容(意見の概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル採点システムの導入が始まり、一部の教科で実施されているとのことだが、中学校でもすでに導入されており、生徒たちは慣れてきているので、ぜひ、高校でも活用をされるとよい。 ・遅刻数が多くなってきており、指導を熱心に行っていること、また、体調面などの事情を抱える生徒が増加傾向にあるとのこと。生徒の状況に応じて指導方法を変え、丁寧な指導を行っていることは大変良いと思う。 ・遅刻について、社会に出てから非常に厳しく指摘されることを生徒たちに意識させる指導をしていただきたい。時間を守る大切さを繰り返し指導していただきたい。 ・中学校では、体調面などで午前中の登校が困難な生徒が増えている。そのため、進学先も登校時間が自由に設定できる通信制高校を選択する生徒が一定数いる状態である。また、私立高校は公立高校より早く合格が決まるため、中学生の早く進路を決めたいという思いに合致し、年々、人気が高まってきている。 ・学校が楽しい生徒が多くいることは良いが、学校が楽しくないと考えている生徒も一定数いることも確かなので、このような生徒ができるだけ少なくなるよう丁寧な指導をお願いします。 ・公民館の活動において、生物エコ部の生徒に大いに協力していただいている。また、校内の里山を活用した活動でも、地域の参加者から大変な好評をいただいている。令和6年度も地域と連携した活動の継続をお願いしたい。 ・教員の働き方改革の一例として、中学では朝の登校確認は副担任が中心になって担っており、家庭への電話連絡も行っている。高校でも参考にしてほしい。 ・高校も希望する学校に合格する生徒を増やすことが大切だと考える。1年生から積極的な進路指導を実施していただきたい。「進路の手引」には卒業生の受験体験記もあるとのこと、より一層の活用をお願いします。 ・広報の活性化の指標にHPの閲覧数を用いるのは面白いと思う。